

2012. 10. 29

日

新

聞

16

Opinion

ダウン症児が安心できる社会

小児科医 塚 武男

(仙台市青葉区 63)

妊婦の血液検査でダウン症の出生前診断が99%可能になるといふ記事を8月に読んだ時、私は思わず天を仰いだ。この新しい方法によりダウン症児がこの世から抹殺されるのかと考えたからだ。

私は小児科医として三十数年、ダウン症児とその家族との付き合いを続けてきて、私の診療所には現在約150人のダウン症児が通院している。皆さんに共通しているのは家族や兄弟姉妹の誰もが優しいということだ。ダウン症児のもつ天性の明るさと優し

ダウン症児が染色体異常で知恵と行動が遅れる人間の集団だと単純に決めつけるのは、ダウン症をよく知らない人たちの偏見だ。私は、ダウン症児は「我々のもっているどろどろした金銭欲、名誉欲、地位欲などの欲望を一つひとつそぎ落としていったどり着く人間の純粋な姿」だと思っている。生き方や感性など、彼らから学ぶことは多い。

今、医学に必要なのはダウン症を排除することではなく、ダウン症児のように種々の特徴をもった子どもやその家族が安心して生きていけるための態勢整備だ。どこかに